

## 空き家・空き畑・空き山を活用した地域再生

- 小津町の市街化調整区域を対象に -

飯田晶子 (都市工学専攻環境デザイン研究室 助教)

三島由樹 (特別講師 株式会社folk代表取締役)

TA 1~2名

東京都心から約 40km に位置する八王子市は、約 58 万人が暮らす東京西部最大の都市であり、2015 年 4 月に中核市に指定された。一方で、高尾山や陣馬山など関東山地の山々が連なる市西部には、古くから林業・農業を生業とする集落が立地する市街化調整区域が広がる。それらの地域では、急速な人口減少と高齢化に伴い、公共施設・サービスや生活利便施設の撤退が進み、地区の存続に関する不安が顕在化しつつある。一方で、自然豊かな地域を求めて新規移住希望者が増えるなど、これまでにはなかった動向も見られる。そのような背景を受け、八王子市は、2015 年度に「地域再生計画」の策定に向けた取り組みを開始し、地元自治会、地元企業、大学（本演習）と連携した新たなまちづくりを推進している。本演習では、昨年度の演習課題「新しい里地里山暮らしをつくるランドスケープデザイン」から引き続き、八王子市小津町を事例として開催する。昨年度は、小津町全体のランドスケープ提案に主眼を置いたが、本年度は、具体的な空き家・空き畑（耕作放棄地）・空き山（管理放棄林）の改修デザインと活用プログラムの提案を行う。

### 【スケジュール概要】

- 5 / 2 1 (第 1 回) 自己紹介、課題説明、前年度の課題紹介、次回の説明
- 6 / 0 4 (第 2 回) 対象地視察・事例見学
- 6 / 1 1 (第 3 回) 課題とポテンシャルの整理、計画の方針
- 6 / 1 8 (第 4 回) 計画の方針の決定、図面・模型の作成開始
- 7 / 0 2 (第 5 回) 中間発表・事例見学
- 7 / 0 9 (第 6 回) 対象地のデザイン、図面・模型の作成
- 7 / 1 6 (第 7 回) 発表準備、図面・模型の完成
- 7 / 2 3 (第 8 回) 最終発表&ディスカッション (東京大学)
- 未定 (第 9 回) 現地発表会 (八王子市)

連絡先：飯田晶子 [iida@epd.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:iida@epd.t.u-tokyo.ac.jp)

参考：2015 年度スタジオポスター

<http://yokoharilab.t.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/poster.pdf>

2014 年度スタジオ HP : <https://www.facebook.com/hachioji2014>

2013 年度スタジオ HP : <https://www.facebook.com/studio2013kawasaki>